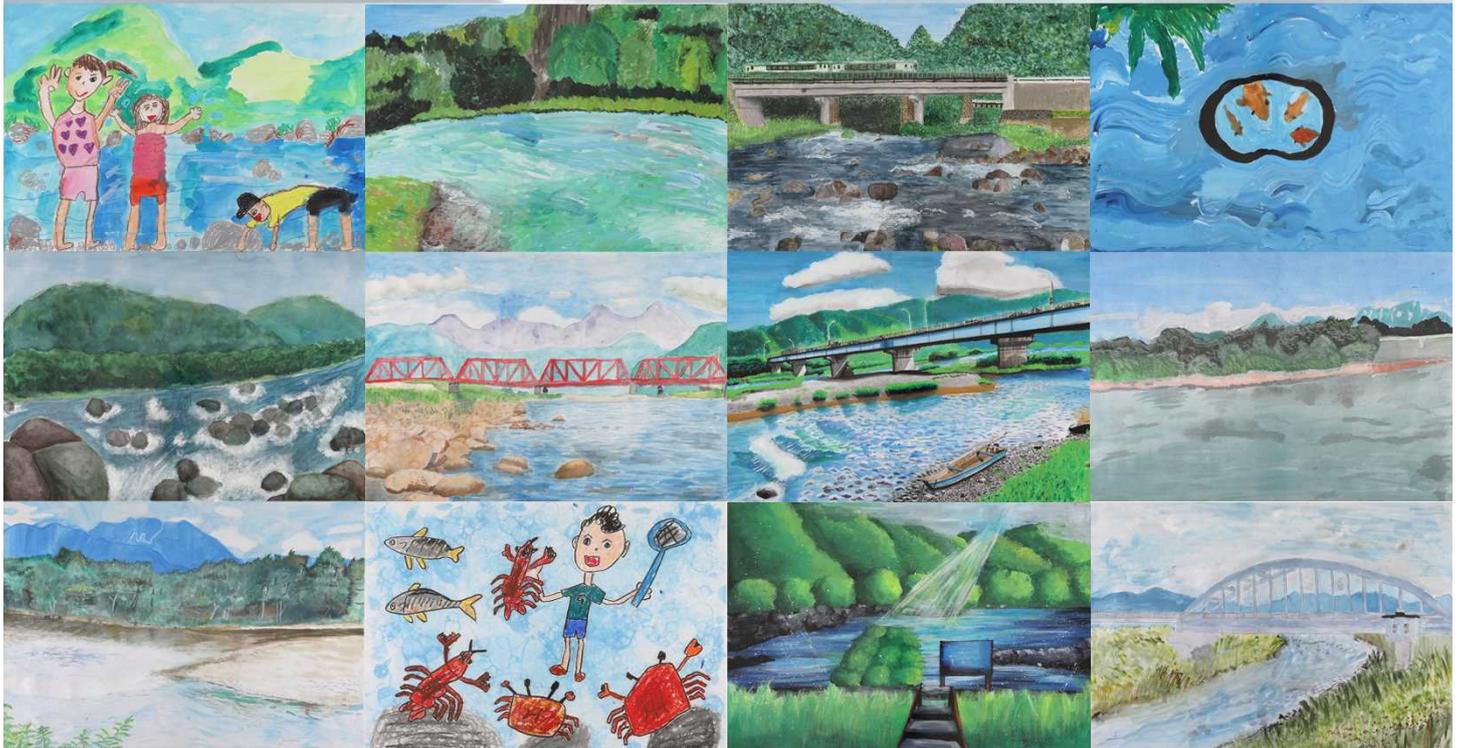




令和4年度 事業概要 千曲川・犀川



【出典：千曲川河川事務所】
第37回千曲川・犀川
ふれあい絵画コンクール 入賞作品



国土交通省



地域との連携で「安全・安心」の川づくり

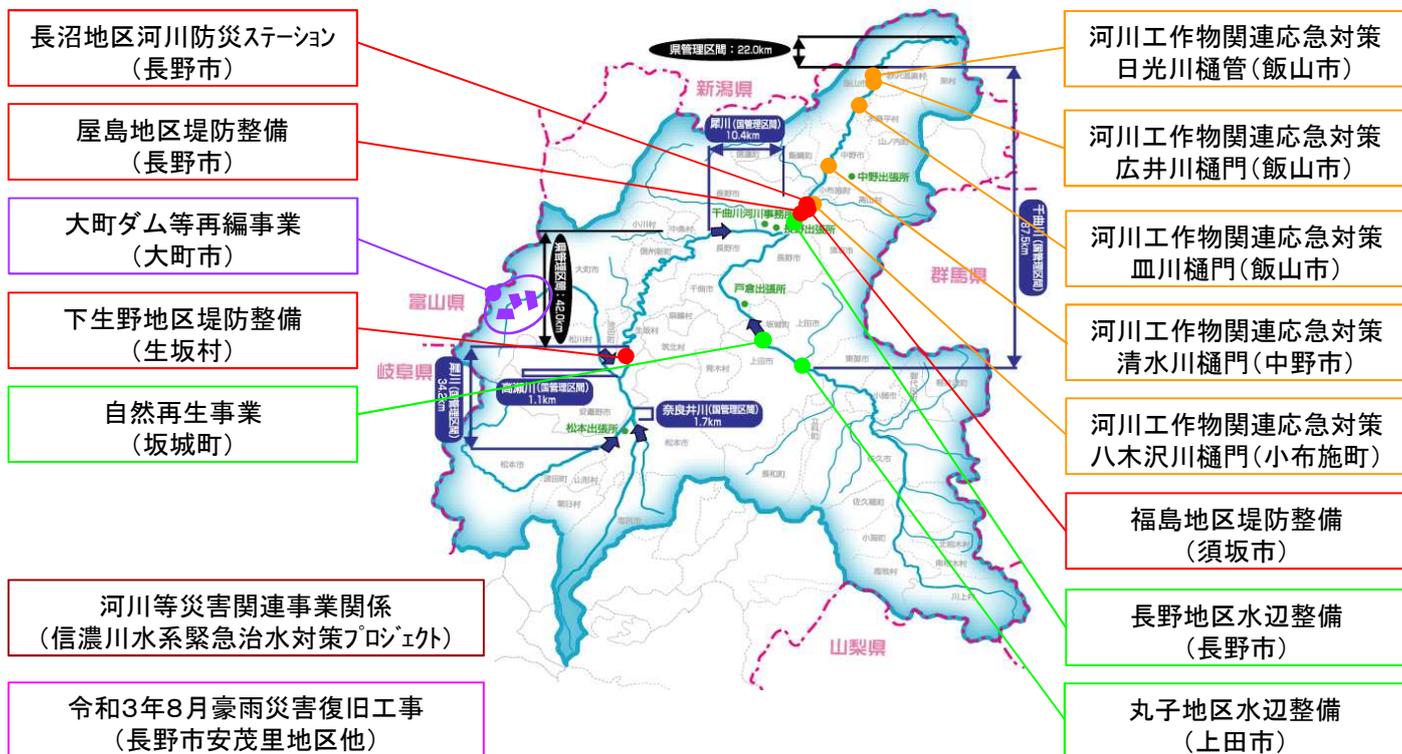
国土交通省 北陸地方整備局

千曲川河川事務所

治水 ONE
NAGANO

令和4年度の主要事業

千曲川・犀川は地域の大切な宝であることを常に意識し、治水安全度の低さや豊かな河川環境、川に対するふるさとの想いを念頭に置き、地域と連携しながら以下の方針で事業を進めます。



■事業費

予算の概要 単位:百万円

予算区分	(R2補正+R3当初)		(R3補正+R4当初)	
	R2補正	R3当初	R3補正	R4当初
河川改修(一般改修)	2,102	654	871	672
河川工作物関連応急対策事業費	0	162	0	55
河川等災害関連事業費(河川大規模)	9,277	70	8,841	70
河川等災害復旧事業費(令和3年8月豪雨)	0	2,850	1,836	0
河川環境整備	0	285	276	174
ダム事業	100	389	211	472
合計	10,825	4,409	11,364	1,442

※工事諸費等を除く

※金額はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計と一致しない場合がある

～みんなでつなぐしなのの川～

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト

～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進～

事業の概要

令和元年東日本台風では信濃川水系の千曲川上流域から信濃川中流域の広域にわたって甚大な被害が発生したことから、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」として、国、県、市町村が連携して河川整備によるハード対策と流域における対策や地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に推進します。

「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の概要

○以下の3つを柱として取り組んでいきます。

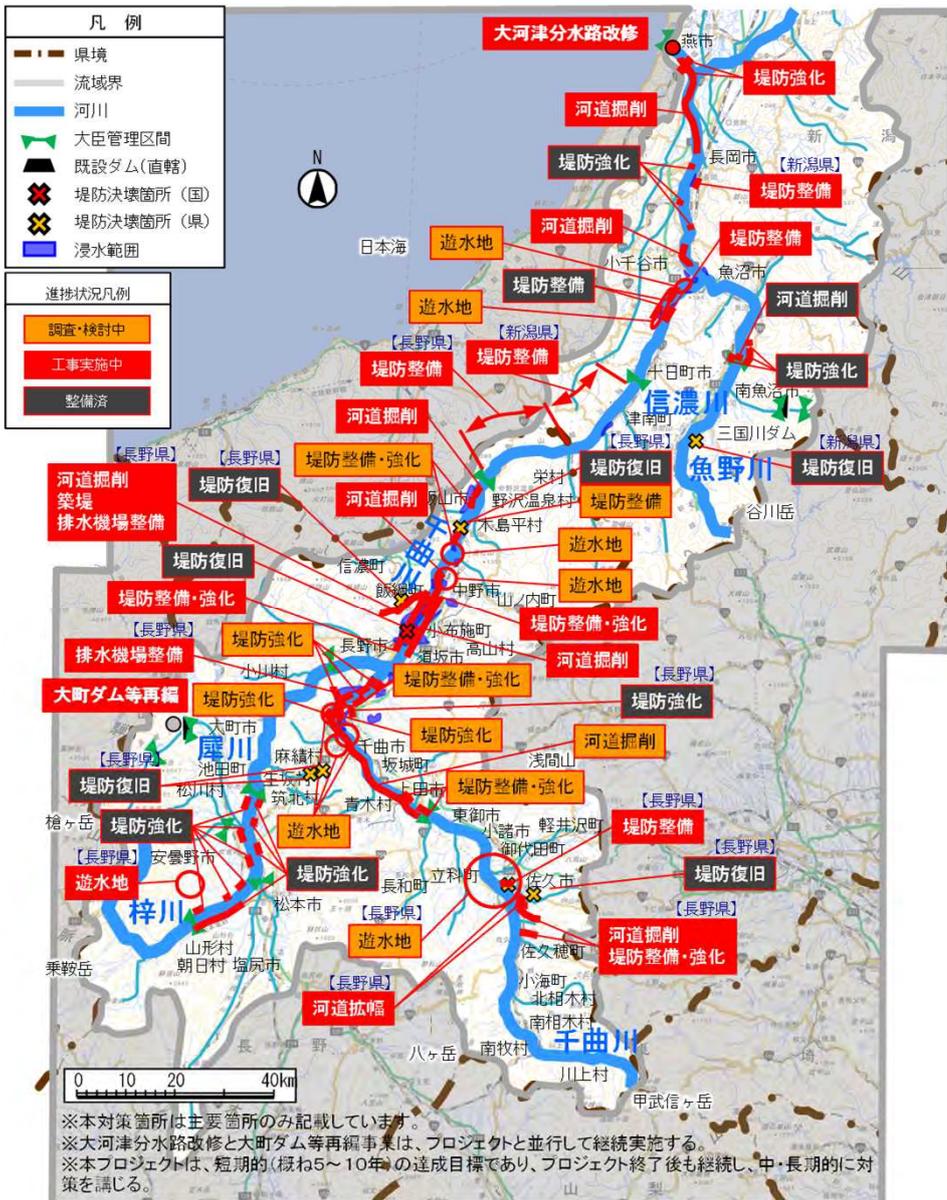
- ①被害の軽減に向けた治水対策の推進（河川における対策）
- ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進（流域における対策）
- ③減災に向けた更なる取組の推進（まちづくり、ソフト施策）

関係機関が連携し、上記の3つの取組を実施し、概ね5年間で「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指します。

令和4年度の事業内容

信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの「河川における対策」の内、水位低減を図る河道掘削・遊水地及び粘り強い河川堤防等を推進します。

令和4年2月末時点 進捗状況

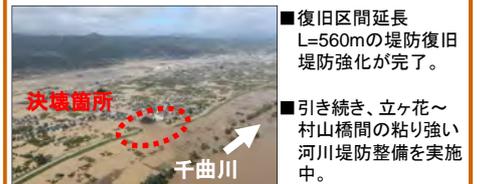


<災害復旧状況(直轄管理区間)>

○令和元年東日本台風により、千曲川(直轄管理区間)では、穂保地区の決壊をはじめ、25箇所が被災しました。

○令和2年6月末には、穂保地区、篠ノ井塩崎地区をはじめとする越水による被災5箇所及び堤防欠損箇所である諏訪形地区において、復旧工事を実施し、一定の治水安全度を確保しました。

○直轄管理区間25箇所については、令和3年6月までに復旧を完了しました。



市町村名	箇所数	河川名	箇所名
中野市	1	千曲川	栗林
小布施町	1	千曲川	大島
長野市	4	千曲川	穂保、穂保、篠ノ井横田、篠ノ井塩崎
	2	犀川	若穂牛島、四ツ屋
千曲市	7	千曲川	南宮、野高場、千本柳、上徳間、上山田温泉、三本木、カ石
坂城町	3	千曲川	網掛、南条、鼠宿
上田市	5	千曲川	中之条、御所、諏訪形、園分、園分
安曇野市	2	犀川	南陸郷、南穂高
			計 25箇所

信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの取組み

■河川における対策

河道掘削をはじめ様々な治水対策を実施することにより令和元年東日本台風と同等規模の台風洪水における千曲川本川の越水等による家屋部の浸水を防止します。信濃川流域全体での上下流バランスや、氾濫域のリスク等を総合的に勘案しつつ、千曲川本川の水位低下を目指し、対策を行ってまいります。



立ヶ花狭窄部



上今井遊水地計画地

■流域における対策

河川防災ステーションは、災害時の緊急復旧活動を行う上で必要なコンクリートブロックなどの緊急用資材の備蓄や駐車場、ヘリポート等の整備を行うとともに水防センターを設置するなど、災害時の活動拠点となる施設です。

河川防災ステーションを整備し、迅速かつ円滑な復旧活動を行う体制の強化を図ります。



河川防災ステーション【災害時】



河川防災ステーション【平常時】

■ソフト対策

【流域タイムライン】

流域全体で危機感を共有し、各機関が流域の警戒ステージに応じた防災行動計画を整理作成し、災害発生の的確な行動を促進します。

流域警戒ステージ	
時期区分	防災行動の目標
流域警戒ステージⅠ	災害の危険性に注意を向ける
流域警戒ステージⅡ	防災対応の方針を決定する
流域警戒ステージⅢ	防災対応を開始する
流域警戒ステージⅣ	上下流を意図した防災対応を実施する



千曲川・犀川流域
(緊急対応)タイムラインの実施状況

【コミュニティ・タイムライン】

自治体、地域住民の協働で作成する、地域単位での避難行動計画を作成を支援しています。

<令和3年度の実績>

- 長野市長沼地区
⇒作成済
- 須坂市北相之島地区
⇒作成中



長野市長沼地区の取組状況

「流域治水」への転換と取組みの推進

◇気候変動の影響により増大する水害リスクに対して、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策「流域治水」へ転換します。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

集水域

雨水貯留機能の拡大
[国・市・企業・住民]
雨水貯留浸透施設の整備、ため池等の治水利用

河川区域

流水の貯留
[国・県・市・利水者]
治水ダムの建設・再生、利水ダム等において貯留水を事前に放流し洪水調節に活用
[国・県・市]
土地利用と一体となった遊水機能の向上

持続可能な河道の流下能力の維持・向上
[国・県・市]
河床掘削、引堤、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす
[国・県]
「粘り強い堤防」を目指した堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導/
住まい方の工夫

浸水域

浸水範囲を減らす
[国・県・市]
二線堤の整備、自然堤防の保全

氾濫域

土地のリスク情報の充実
[国・県]
水害リスク情報の空白地帯解消、多段階水害リスク情報を発信

避難体制を強化する
[国・県・市]
長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化
[企業・住民]
工場や建築物の浸水対策、BCPの策定

住まい方の工夫
[企業・住民]
不動産取引時の水害リスク情報提供、金融商品を通じた浸水対策の促進

被災自治体の支援体制充実
[国・企業]
官民連携によるTEC-FORCEの体制強化

氾濫水を早く排除する
[国・県・市等]
排水門等の整備、排水強化

信濃川水系(千曲川)の取組み

信濃川流域における流域治水の更なる推進、またその全体像を共有・検討する場として、流域内の市町村長等が参加し、議論する『信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会 全体協議会』を開催しました。



全体協議会 開催状況
(令和4年2月9日)

千曲川・犀川の治水事業の進め方

河川整備計画の目標(令和元年東日本台風洪水を踏まえた見直し)

- ◇信濃川水系河川整備計画は今後概ね30年間の具体的な河川整備の目標や内容を示すものであり、関係住民や学識者、自治体などの意見聴取を経て平成26年1月に策定されました。
- ◇千曲川において戦後最大規模を更新した令和元年東日本台風洪水の発生を踏まえ、整備目標の引き上げを実施。令和4年度中の河川整備計画変更に向け、検討及び意見聴取を実施中。



令和元年東日本台風(長野市穂保地先の被害状況)

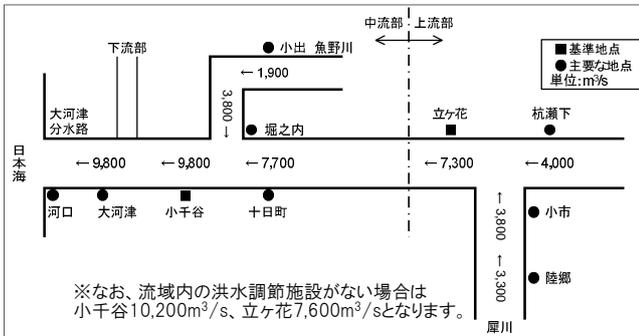
<信濃川水系河川整備計画変更のポイント>

①令和元年10月東日本台風洪水を踏まえた見直し

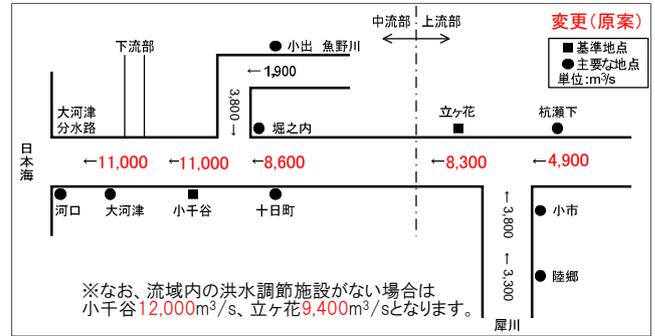
- ◆現行の河川整備計画目標流量を大きく上回る洪水の発生を踏まえ、目標流量を見直し。将来の気候変動の影響による降水量の増大等を踏まえたものとする。
- ◆河道掘削等の河道改修の推進と併せ、洪水調節機能の向上を図る対策の実施や調査・検討。

②流域治水を踏まえ治水対策案を見直し

ハード対策のみならずソフト対策や流域対策など、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」へ転換。



河川整備の目標(30年後) 流量配分図 <H26年1月策定>

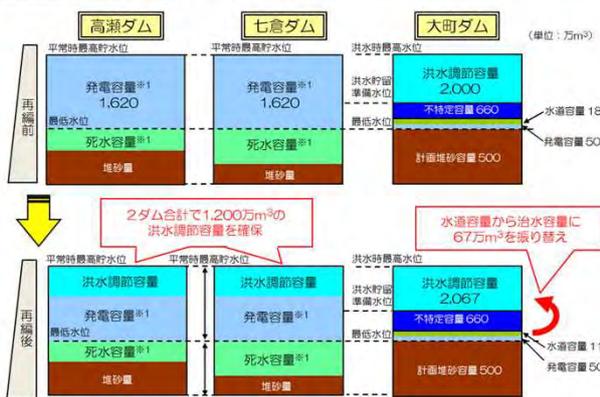


河川整備の目標(30年後) 流量配分図 <変更(原案)>

大町ダム等再編事業(既設ダムの有効活用 令和2年度より建設段階へ移行)

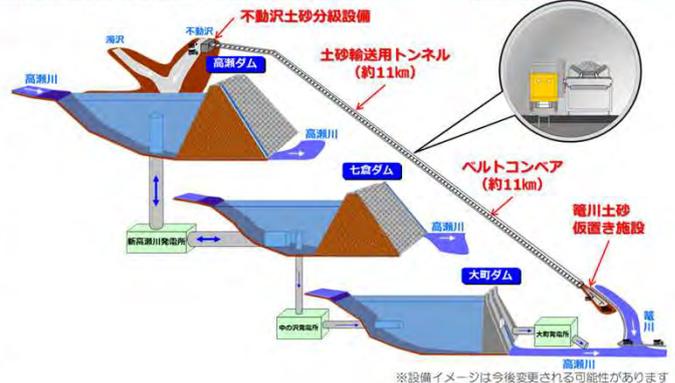
- ◇高瀬ダム、七倉ダムの発電容量のうち1,200万m³、大町ダムの水道容量のうち67万m³を洪水調節容量に振り替え、新たに1,267万m³の洪水調節容量を確保します。これにより3ダム合わせ3,267万m³(25mプール約54,500杯分)の洪水調節容量が確保されます。
- ◇高瀬ダム及び七倉ダム・大町ダムにおいて新たに洪水調節容量を確保することにより、昭和58年9月洪水と同規模の洪水が発生した場合、立ヶ花地点における流量7,600m³/sのうち既設ダムを併せた洪水調節後の流量は7,300m³/sになります。
- ◇高瀬ダムの堆砂対策として、将来にわたって、確保した洪水調節容量と発電容量を維持することを目的として、令和11年度までに高瀬ダム上流から大町ダム下流までの間に土砂輸送用トンネル(約11km)を整備し、ベルトコンベア(約11km)及び土砂分級設備、土砂仮置き施設の整備を行います。

大町ダム等再編事業 容量再編イメージ図



※1: 将来の堆砂を許容 ※2: 図の堆砂量は再編後のイメージ

大町ダム等再編事業 土砂対策イメージ図



※設備イメージは今後変更される可能性があります

河川の維持管理

適正な河道内の樹木管理の必要性

千曲川・犀川では、防災・減災・国土強靱化のための3か年緊急対策において、平成30年度より洪水流下時の支障となる河道内の樹木伐採を大規模に実施してきました。

今後も洪水時に支障となる樹木伐採を行っていくとともに、伐採を行った箇所においては、樹木の再繁茂抑制対策を行うことで、適正な河道内樹木の維持管理を実施していきます。



伐採木無償提供、河道内樹木の公募伐採

資源の有効利用と経費節減のため、

- ①伐採木無償提供：市民の皆様は無償配布を行っています。
- ②河道内樹木の公募伐採：無償で支障木を伐採し、お持ち帰りいただいています。

※大規模な伐採を目指し、営利目的とする企業・団体等にも河川法第25条を適用した公募伐採を試行しています。



効率的・効果的な維持管理

継続的な河川巡視や堤防施設点検により、危険箇所や河川管理施設（堤防や護岸、水門・樋門・排水機場等）の損傷・劣化等の状態を的確に把握し、機能を維持できるよう補修や更新を行います。

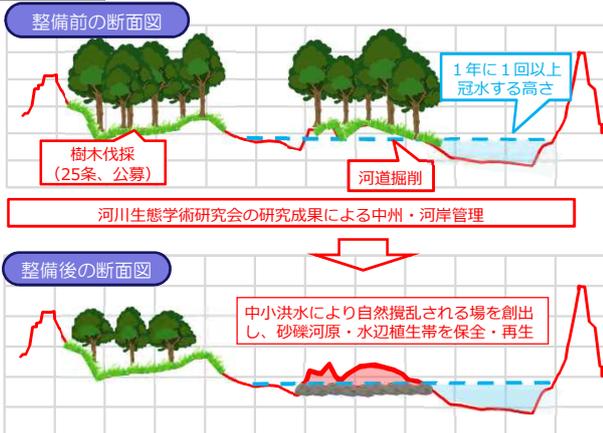


千曲川本来の砂礫河原・再生に向けた取り組み

砂礫河原の保全・再生

千曲川らしい砂礫河原に再生するため、自然再生事業として高水敷を切り下げ、中小洪水による自然攪乱や冠水が起こることによって、砂礫河原の再生・保全や外来植物の侵入繁茂を抑制し、これまでに失われた千曲川本来の自然環境を再生する取り組みを進めています。

整備イメージ



河川空間を活用した地域の賑わい創出

かわまちづくり

上田市千曲川×依田川地区かわまちづくり



上田市では、平成30年3月26日付けで「かわまちづくり」計画が登録されました。

また、「健康都市の実現」をまちづくりの目標に掲げている一方、千曲川・依田川合流地区では、水辺整備により誰もが安全かつ容易に利用できる散策路や坂路、親水護岸などを整備を行います。

千曲川北信5市町かわまちづくり

長野県北信地域の長野市、須坂市、中野市、飯山市、小布施町の5市町では、平成31年3月8日付けで「かわまちづくり」計画が登録されました。

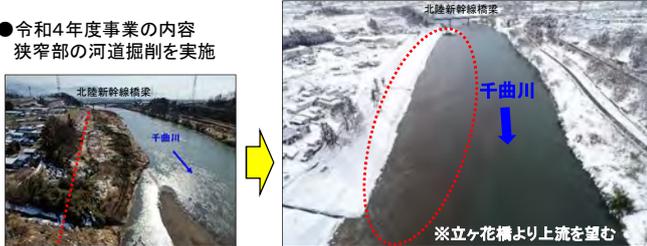
◆広域連携による観光ルート構築
5市町を繋ぐ千曲川を活用し、各市町の水辺拠点を整備するほか、現在行われている水辺アクティビティの広域な連携、さらにアウトドアーメーカーや鉄道事業者とのタイアップを推進します。



令和4年度の主要事業

とがり たてがはな
■戸狩・立ヶ花地区狭窄部の河道掘削(飯山市・中野市)
 令和2年度よりプロジェクトの一環である立ヶ花・戸狩狭窄部の掘削を開始。令和元年東日本台風と同等規模の台風洪水における千曲川本川の越水等による家屋部の浸水を防止します。

- 全体計画
信濃川水系緊急治水対策プロジェクト
- 令和4年度事業の内容
狭窄部の河道掘削を実施



河道掘削着手前 立ヶ花狭窄部の河道掘削状況(令和4年2月)

※立ヶ花橋より上流を遡む

ながの おおせ すざか
■堤防強化対策(長野市・小布施町・須坂市)
 せき上りの影響を受ける立ヶ花狭窄部上流～村山橋の有堤区間について、粘り強い河川堤防を順次整備していきます。

- 全体計画
信濃川水系緊急治水対策プロジェクト
- 令和4年度事業の内容
粘り強い河川堤防整備を実施



粘り強い河川堤防

ながの
■屋島地区堤防整備(長野市)
ふくしま すざか
■福島地区堤防整備(須坂市)
 千曲川の村山橋～落合橋付近までの間は、堤防の高さと幅などの断面が不足し、浸透に対する安全度も不十分なことから、洪水を安全に流下させるため、堤防整備を推進します。

- 全体計画
屋島築堤延長 約5.3km
福島築堤延長 約4.5km
- 令和4年度事業の内容
堤防整備を実施



屋島・福島地区堤防整備事業

— 実施箇所
— 完成区間

しもいたの いくさか
■下生野地区堤防整備(生坂村)
 犀川上流の右岸東筑摩郡生坂村下生野地区は暫定堤防区間であり、洪水を安全に流下を図るため、堤防整備を推進します。

- 全体計画
築堤延長 約900m
- 令和4年度事業の内容
用地取得・補償を実施



下生野地区堤防整備事業

ながの
■長沼地区河川防災ステーション(長野市)
 千曲川において河川防災ステーション整備を推進し、迅速かつ円滑な復旧活動を行う体制の強化を図ります。

- 全体計画
河川防災ステーション 1式
- 令和4年度事業の内容
用地取得・補償を実施



長沼地区河川防災ステーション:イメージ図

まるこ うまだ
■丸子地区水辺環境整備事業(上田市)
 「かわまちづくり計画」に位置づけている丸子地区の水辺整備について、河川管理者で施工する範囲を完成させます。

- 全体計画
水辺環境整備 1式
- 令和4年度事業の内容
河川管理用道路、
高水敷整正 等の完了
(※河川管理者が施工する範囲)



丸子地区水辺環境整備事業:全体整備イメージ

おおまち
■大町ダム等再編事業(大町市)
 既存発電ダム(高瀬・七倉)の発電容量及び多目的ダム(大町)の水道容量の一部を洪水調節容量に振り替え、千曲川・信濃川への治水効果を向上させます。

- 全体計画
大町ダム等再編事業 1式
- 令和4年度事業の内容
用地取得、
土砂輸送用トンネル工事等を実施



大町ダム等再編事業

にっこうがわ いいやま
■日光川樋管老朽化対策(飯山市)
 老朽化した日光川樋管の機測操作盤を更新し、設備の信頼性向上を図ります。

- 全体計画
機測操作盤更新 1式
- 令和4年度事業の内容
機測操作盤の更新を実施



機測操作盤更新

日光川樋管

千曲川

日光川樋管 全景

情報発信の取り組み

千曲川河川事務所ホームページ



千曲川河川事務所

検索 **クリック**

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>

●ライブ映像(インターネット・携帯版・スマートフォン)



●XRAIN(高性能雨量ネットワーク)

局所的な雨量の細かい分布をリアルタイム配信しています。



事務所HP
このバナーをクリック

リアルタイム情報共有システム

千曲川、犀川流域の各種防災情報を集約した情報システムです。河川の水位状況の他、河川監視カメラ画像や沿川市町村の避難情報を確認することができます。



<https://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/bousai/platform/public/map.html>

SNS

事務所の取り組みやお知らせなどを公式twitter(ツイッター)から発信しています。

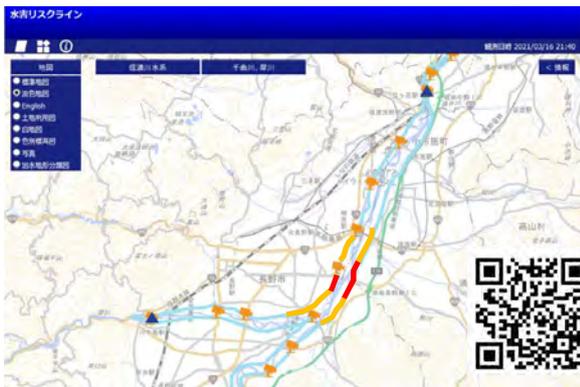


https://twitter.com/mlit_chikuma



水害リスクライン

川の水位状況を河川沿いに連続的に、危険度レベルに応じて色分け表示します。



<https://frr.river.go.jp/>

川の防災情報



<https://www.river.go.jp>

川の水位情報



<https://k.river.go.jp>



令和4年3月作成

国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所

〒380-0903 長野市鶴賀字峰村74

総務課 TEL 026-227-7611
経理課 TEL 026-227-7612
用地第一課 TEL 026-227-7613
用地第二課 TEL 026-227-0337
工務課 TEL 026-227-7614

品質確保課 TEL 026-227-7827
調査課 TEL 026-227-9434
管理課 TEL 026-227-9261
占用調整課 TEL 026-227-7768
防災情報課 TEL 026-227-7875

長野出張所 TEL 026-221-4882
〒381-0026 長野市松岡2丁目1-26

戸倉出張所 TEL 026-275-0133
〒389-0804 千曲市大字戸倉字芝宮2222

中野出張所 TEL 0269-22-2729
〒383-0042 中野市大字西条字吉原562

松本出張所 TEL 0263-47-2199
〒389-0851 松本市島内1666-1126

千曲川緊急治水対策出張所 TEL 0269-67-0450
〒389-2253 飯山市大字飯山2269-2